



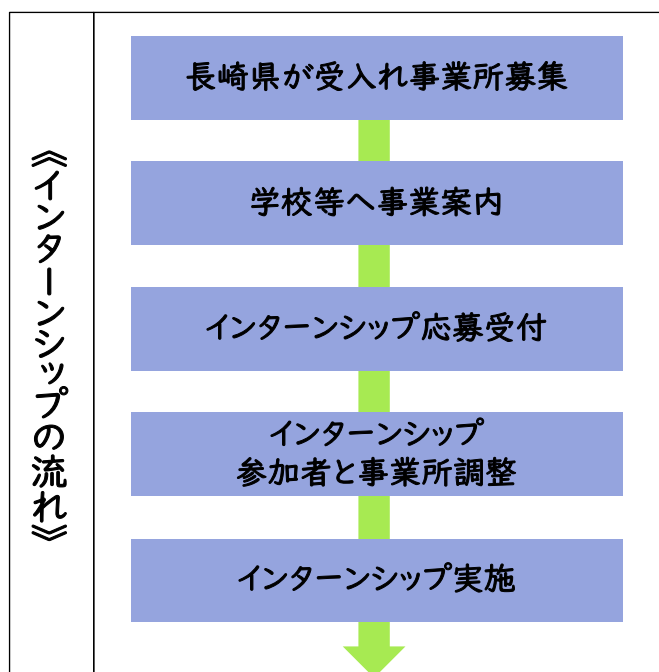
インターンシップ(就労体験)とは?

- ★介護職インターンシップ(就労体験)では、介護施設等で介護職としてインターンシップ(就労体験)に参加いただき、介護職の仕事内容、仕事のやりがいや魅力、および職場の雰囲気を知っていただくことで、介護分野への就職のきっかけとなることを目的としています。
- ★令和3年度は高校生、大学生、一般の方々が参加され、体験後の感想ではほとんどの方が、体験前と体験後では介護の仕事や介護施設等に対する印象が変わったと述べられていました。介護の仕事を取り巻く環境は20年ほど前より変化しており、一般の方が持たれているイメージと現実では異なる部分があるのかもしれません。
- ★就労体験に参加することで、仕事の内容や魅力等を発見していただき、介護の世界へ飛び込んでこられることを、介護施設等の職員さんや利用者さんは期待されています。



インターンシップ実施例

- オリエンテーション
 - ・挨拶、スケジュール確認
 - ・介護事業・業界説明
 - ・施設の説明
 - ・施設内見学
- 介護の仕事についての講話
<昼食休憩>
- サービスのお手伝いや利用者の方とのコミュニケーション
- 職員との意見交換、質疑応答 等



インターンシップ参加者の声



- 【声1】自分で出来ることはしてもらう自立支援の考え方が大切で、皆で協力して担当の利用者さんに対し介助するということがわかりました。大変さの中にも職員さんの笑顔や生き生きとされている姿があり、大変な面だけでなく、その分**やりがいを感じる仕事**なんだと思いました。
- 【声2】大変なイメージがありましたが、**直接ありがとうや感謝の気持ちを聞ける**のはとても良いと思いました。**良い介護職員を目指して頑張りたい**です。
- 【声3】なるべく自立した生活を長く続けることができるように環境を整えて、どうしてもできないところだけを支えるという感じてした。職場の雰囲気もすごくアットホームで楽しい感じだったので**働くのが楽しみになりました**。
- 【声4】私の母も介護の仕事をしていて、**憧れもあり、介護の仕事をしてみたい**と思いました。利用者の方とのコミュニケーションをとることによって**自分自身も成長できる**と思うので、このインターンシップで学んだ「小さなことに気付く」ということを大切にして**今後活かしていきたい**です。
- 【声5】**誰かの役に立ちたい**と思ったし、高齢者の方と関わる機会もあまりないので**素晴らしい職業**だと思いました。今までは介護分野に興味はなかったけれど考えが変わりました。
- 【声6】施設っていうよりは、利用者の方が家のように自分のしたいことをしていて、とても良いなと思いました。また、私たちより元気な方がいて、**元気をもらいました**。
- 【声7】お風呂に入るにしても、起き上がるにしても、介助者が負担になることに機械が導入しており、利用者の身体の状態に合わせた機械がそれぞれあって、**介護施設のイメージも変わりました**。



インターンシップ受入れ事業所の声




- ご利用者が普段、接することが少ないフレッシュな若者と接することで、いつも以上のよい表情を見ることができました。職員にとってもインターンシップ生を受け入れることにより、自分たちの仕事の振り返りややりがいの再確認など、いい刺激になったと感じています。
- 参加者が高齢社会に向け、親族の介護を見据え、自分の将来の職業への展望を強く抱いており、感銘しました。地元の若い力が今後の医療・介護福祉を支えていただけると願っています。
- 自分の住んでいる地域にある施設について知ってもらう良い機会になったと思います。福祉の仕事に少しでも興味を持ってもらえると嬉しいです。



令和3年度 介護のしごと体験事業
インターンシップ編
(就労体験)



<受託者>

 公益財団法人 介護労働安定センター 長崎支部
〒850-0057 長崎市大黒町9-22 大久保大黒町ビル新館6階
TEL:095-828-6549 FAX:095-828-6589
Mail:nagasaki@kaigo-center.or.jp



長崎県 福祉保健部 長寿社会課

